


【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	11				シート作成者		-		-	
事務事業名	茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団との連絡・調整事務				事務区分	自治事務				
事業の目的	茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団と連携をとり円滑な運営及び管理を図る。				事業の目標	市の政策・施策と連携した形で財団のあり方を見直し、市民のだれもが学び、活動し、交流する機会を提供する団体として、体制を整備する。				
事業の概要	文化・スポーツ振興財団の社会的役割を検討し、自立的、効率的な経営体制を協議し、市民文化会館工事期間中及び終了後の業務の整理を行う。									
対象	(財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団及び市民等				事業の性質区分	定例・定型			業務計画	■
指標	会議の開催									
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)				
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
年6回程度	年12回	年12回程度		年12回程度				年12回程度		
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください				
事業費	実施計画事業費	-	0	0	0					
	予算額	0	0							
	決算額	0								
	執行率									
	従事者数	0.49	0.48							
財源内訳	職員	0.46	0.45							
	臨時・非常勤等	0.03	0.03							
	特定財源									
	国庫支出金									
	県支出金									
	地方債									
	その他									
	一般財源									

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>(公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団は茅ヶ崎市の100%出捐団体として、市民文化会館、美術館、茶室・書院「松籟庵」の指定管理者として管理運営を行っている。</p> <p>市民のだれもが学び、活動し、交流する機会を提供する団体として、市の政策・施策と連携した形で財団のあり方を見直し、体制を整備していくためには当事業は欠かすことはできない。今後、文化会館の耐震補強及び改修工事を予定しており、引き続き、(公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団との継続性をもった連絡調整事務は必要不可欠であり、人工の減少はできない。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	<p>市民のだれもが学び、活動し、交流する機会を提供する団体として、市の政策・施策と連携した形で財団のあり方を見直し、体制を整備していくため、平成27年度は(公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団と会議を12回行った。</p> <p>協議の主な内容としては第3実施計画等の策定、外郭団体の経営計画・経営報告書作成に伴う協議や市民文化会館改修期間中の事務所移転についての協議、個人情報管理についての協議等を行った。</p> <p>市民文化会館改修に伴い、認識の相違が発生しないよう連絡・調整事務を進めなければならない。</p>
事務効率	<p>市と(公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団の双方で問題点や課題点等がある際にはすぐに連絡を取り合い早めの対処を行っており、効率的に連絡調整を行うことはできている。</p> <p>今後、市民文化会館改修期間中において、今までと異なる文化振興事業を展開していく必要があるが、役割分担を明確にし、いかに効率的に進めていくことができるかが課題である。</p>
<div align="center">  </div>	
事業成果及び事務効率に対する評価	
<p>実施手法は効率的かつ効果的であり、成果は今後見込める</p>	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	<p>今後も、(公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団と定期的に連絡・調整事務を行いながらこれまで同様迅速に課題解決にあたり、管理運営を進めて行く。</p> <p>文化会館の再整備事業に伴い、様々な課題点等が発生してくることが予想されるが、課題点等については必ず双方で課題認識を情報共有しながら連携を図っていく。</p> <p>「外郭団体見直し基本方針」に基づき、積極的な情報公開によるアカウンタビリティ(説明責任)の向上を求め、自立した組織となるよう働きかけを行っていく。また、(公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団の自主性・自立性を尊重しつつ、引き続き適切な指導・監督を行いながら活性化を図っていく。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	15			シート作成者	-	-		
事務事業名	指定管理に関する事業（茅ヶ崎市民文化会館）			事務区分	自治事務	部課かい名	文化生涯学習部文化生涯学習課	
事業の目的	多様化する住民のニーズにより効果的・効率的に対応するために、民間のノウハウを生かしながら住民サービスの向上や経費の節減を図る。			事業の目標	文化活動の拠点とした文化芸術事業を継続するため、（公財）茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団の経営基盤強化が図れるよう適切な指導・監督を行う。			
事業の概要	市として管理運営からそのチェック・検証・評価に至る一連のシステム（モニタリング）を確立することにより、指定管理者制度を導入した文化会館の円滑な運営を行う。							
対象	全市民			事業の性質区分	政策	業務計画	■	
指標	モニタリング（第2次実施計画） 市民文化会館における来館者数（第3次実施計画）							
27年度（第2次実施計画）		28年度（第3次実施計画）		29年度（第3次実施計画）		30年度（第3次実施計画）		
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
年4回	4回 （441,954人）	495,000人		0人（市民文化会館改修工事期間中のため）		252,000人（10月よりリニューアルオープン予定のため）		
事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください			
	実施計画事業費	-	221,425,000	103,252,000				169,302,000
	予算額	201,000,000	221,425,000					
	決算額	201,000,000						
	執行率	100.0%						
	従事者数	0.56	0.26					
	職員	0.34	0.23					
臨時・非常勤等	0.22	0.03						
財源内訳	特定財源							
	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源		201,000,000	221,425,000					

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>市民文化会館における来館者数は、27年度の目標値(第2次実施計画)492,141人に対し、441,954人であり、目標値に概ね達成している。実績値から、地域の芸術文化を振興する拠点として多くの市民が利用していることが分かる。</p> <p>市民文化会館は、平成18年度の指定管理者制度の導入により、経費削減効果とともに、市民サービスのさらなる向上を図ることが求められている。</p> <p>文化事業の増加要望も多く、今後も市民文化会館を文化活動の拠点とした文化芸術事業を継続していく必要がある。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	市として管理運営から、チェック・検証・評価に至る一連のシステム(モニタリング)を年4回実施しているが、モニタリングの結果からも、地域に根付いた事業展開など一定の効果はあったとみられる。
事務効率	一方で、施設運営に対する中長期的な事業計画や、自己評価、市の施策とのつながりなどが見えづらい等の課題がある。また、今後は文化会館の大規模改修という節目を迎えるため、ここであらためて今後の中長期的な施設運営のあり方の見直しを行わなければならないことが課題である。
モニタリングの実施や維持管理点検などを行う中で、指定管理者が自主的に施設の問題点などの抽出を行っており、管理運営については経験・実績に基づく効率的な運営ができていていると考えるが、市民からの様々なニーズに適切に対応していくためには、経営目標を明確にさせ活性化を図っていくことが必要である。	
事業成果及び事務効率に対する評価	
実施手法は効率的かつ効果的であり、成果は今後見込める	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	<p>第3次実施計画においては「市民文化会館の指定管理に関する事業」として名称を改めた。</p> <p>現在の市民文化会館の指定管理者である(公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団が、多様化する市民からの様々なニーズに適切に応えていけるように自主性・自立性を尊重し、財団の経営基盤強化が図れるよう四半期に1度のモニタリング等を通して引き続き適切な指導・監督を行っていく。</p> <p>モニタリングの結果を踏まえた事業の方向性を示し、(公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団と、定期的な協議を行いながら次年度予算要求に向けた事業内容の精査を行っていく。</p> <p>(公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団と共通認識を持つため、四半期に一度のモニタリングだけでなく、定期的な情報交換を行う。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

事業を構成する活動(27年度)						
項番	活動内容	活動指標	目標値	実績値	予算額(円)	決算額(円)
15-1	会館の運営業務(指定管理)	開館日数	年293日	年293日	201,000,000	201,000,000
15-2	指定管理者選定委員会	指定管理者選定委員会の開催	年1回	0回		
15-3	会館の使用承認及び庶務(指定管理)	使用申請の件数	年4,000件	年5,020件		
15-4	会館使用料の収納事務(指定管理)	使用承認の件数	年4,000件	年5,020件		
15-5	指定管理業務モニタリング(月次報告)	月次報告の評価回数	年12回(月1回)	年12回(月1回)		
15-6	指定管理業務モニタリング(年次報告)	年次報告の評価回数	年1回	年1回		
15-7	指定管理業務モニタリング(利用者アンケート)	利用者アンケートの実施回数	年1回	年1回		
15-8	指定管理業務モニタリング(実地調査)	導入施設への実地調査回数	年4回	年4回		
15-9	会館の施設管理(設備・舞台)業務(指定管理)	業務日数	年293日	年293日		
15-10	清掃業務(警備を含む)、その他庭園管理業務等(指定管理)	実施日数	年293日	年293日		
15-11	設備の保守点検業務(指定管理)	項目数	年28項目	年28項目		
15-12	会館の光熱水費等の支出(指定管理)	支出項目数	年6項目	年6項目		

27年度活動の結果を踏まえた28年度以降の改善内容		
項番	改善内容	経営改善方針への位置付け
15-1	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
15-3	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
15-4	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
15-5	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
15-6	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
15-7	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
15-8	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
15-9	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
15-10	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
15-11	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない
15-12	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない

事業を構成する活動(28年度)						
項番	活動内容	活動指標	目標値	実績値	予算額(円)	決算額(円)
4-1	会館の運営業務(指定管理)を行う	開館日数	年293日		221,425,000	
4-3	会館の使用承認及び庶務(指定管理)を行う	使用申請の件数	年4,000件			
4-4	会館使用料の収納事務(指定管理)を行う	使用承認の件数	年4,000件			
4-5	指定管理業務モニタリング(月次報告)を行う	月次報告の評価回数	年12回(月1回)			
4-6	指定管理業務モニタリング(年次報告)を行う	年次報告の評価回数	年1回			
4-7	指定管理業務モニタリング(利用者アンケート)を行う	利用者アンケートの実施回数	年1回			
4-8	指定管理業務モニタリング(実地調査)を行う	導入施設への実地調査回数	年4回			
4-9	会館の施設管理(設備・舞台)業務(指定管理)を行う	業務日数	年293日			
4-10	清掃業務(警備を含む)、その他庭園管理業務等(指定管理)を行う	実施日数	年293日			
4-11	設備の保守点検業務(指定管理)を行う	項目数	年28項目			
4-12	会館の光熱水費等の支出(指定管理)を行う	支出項目数	年6項目			

[illegible]